



下條小学校

ぼうゆう

望勇

令和元年8月30日

No.6

学校だより

下條村立下條小学校 (文責 教頭)

長い夏休みが終わり、実りの2学期がスタート

今年の夏休みも、校舎長寿命化工事が行われたので32日間ありました。今年は雨が多く涼しいかと思いきや、やはり猛暑となりました。「危険な暑さでプールが中止」という日もありました。カッセイカ塾(補習)では3年生以上で5日間行われ、エアコンのある村民センターでは課題を持って集中して学習できていました。

2学期始業式では校長先生から、重点目標「もとう思いやり」と休み中の改修工事の様子についてお話がありました。また、1年・3年・5年生の代表の児童が、2学期に向けて具体的なめあてを堂々と発表してくれました。

様々な活動の中で大きく伸びる2学期が始まり、さっそく運動会の準備も始まっています。お家の方にご覧いただける様子子どもたちもがんばりますので応援よろしくをお願いします。



校舎長寿命化工事3年目

昨年度の工事に続いて今年の夏休み中には、子どもたちが一番生活する教室と玄関の改装工事が行われました。2学期始まって最初に校舎に入ってきた子どもたちは、明るく新しくなった玄関や教室やロッカーを見て大喜びでした。

現在職員室は以前図書館のあったICT教室(会議室)になる玄関左側に仮設となっています。9月より職員室・印刷室の改装工事が行われる予定です。



児童・職員玄関



教室に家具が運び込まれ



バリアフリー化(車椅子)



ロッカーも木製で温かく

[9月の主な予定]

- 2日(月) 村制130周年行事
教育実習生(福嶋さん)
- 4日(水) 交通安全講話 8:20～
防災避難訓練(2校時)
- 5日(木) 中学校教育課程研究協議会
- 6日(金) 学校開放日(祖父母参観)
- 8日(日) みんなのラジオ体操会
PTA 環境整備作業② 7:15
- 10日(火) 運動会児童係会①
- 11日(水) 外国語指導主事訪問
- 12日(木) 村敬老会(6年生作文発表)
- 15日(日) PTA 環境整備作業予備日
- 17日(火) 運動会児童係会②
- 20日(金) 運動会前日準備
下校 13:15(低) 15:00(高)
- 21日(土) 運動会(雨天順延)
下校 15:00(低) 15:30(高)
- 24日(火) 振替休業
- 27・28日(金・土) 中学校清明祭

夏休み中には、伊藤すづ織さんが、長野県代表としてわんぱく相撲の全国大会へ出場しました。

【夏休みはどうしてあるの?⇒先生方が勉強するため】

(チコちゃんに叱られるより)

夏休みには、職員もたくさんの研修をしました。専門分野の研修・教育センター研修・免許更新講習・地域研修・保育園研修・教育研究集会・運動会準備のための研修・さらに不祥事を起こさないための非違行為防止研修等々しっかり研修しました。この研修を2学期に子どもたちに還元することが一番の目的です。

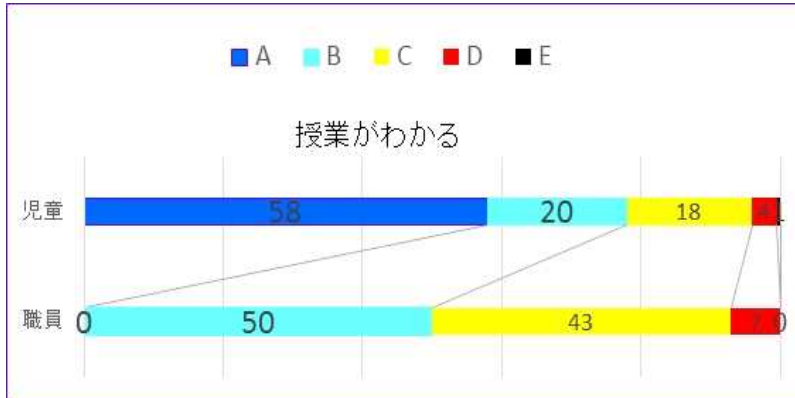


ヤマギシ AIC 小中職員視察

1 学期自己評価アンケートの結果と考察（児童と職員との比較）

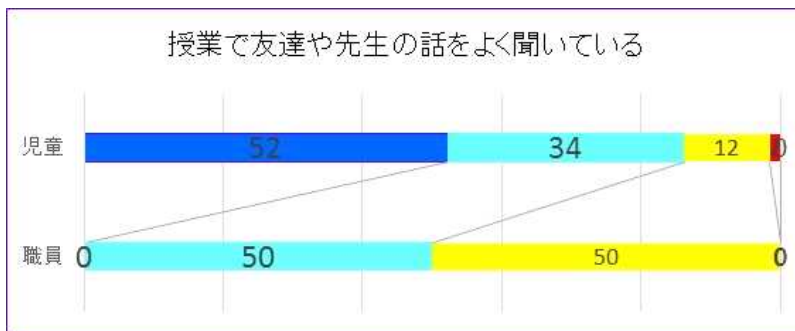
7月に、今年度の3つの重点にかかわる1学期の学校の取組について全校児童、全職員にもアンケートを実施しました。児童・職員のアンケート結果を比較してまとめましたので、報告致します。

A：大いにそう思う B：だいたいそう思う C：普通 D：あまりそう思わない E：そう思わない



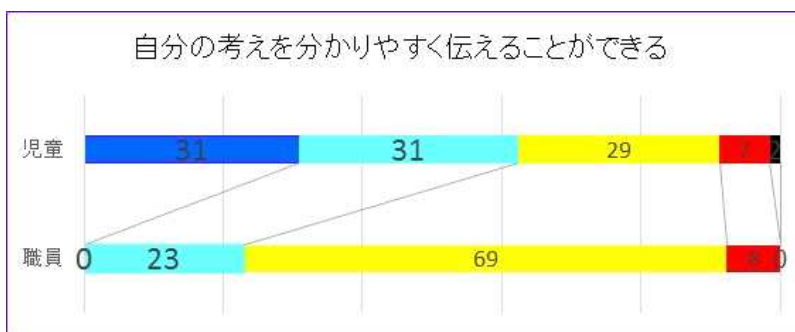
8割の児童が授業が分かると答えています。しかし、職員は5割となっています。

今後、授業改善を研究しながら、みんなに分かる授業をしていきたいという意識でいます。また、一斉指導では分からない児童への個別の支援も大切だと考えています。



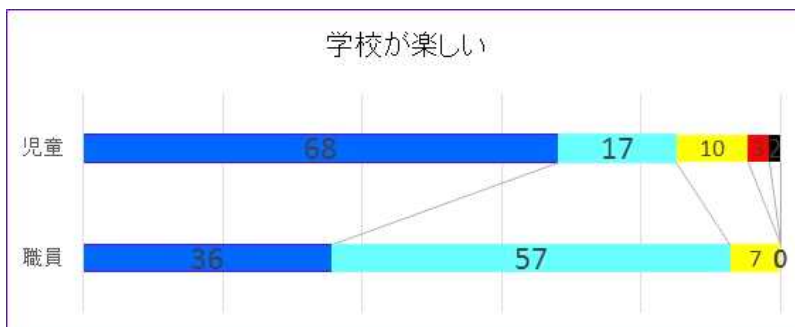
児童は8割以上がよく聞いていると評価しているが、職員は半数となっています。

校長講話でも上手な話の聞き方について6年生の例を出してお話がありました。聞き方について具体的な指導をしていくことが大切だと考えています。



児童が6割、職員が2割と評価に大きく隔たりがあります。

「主体的」で「対話的」で「深い学び」が求められている中「順序立てて話す」「理由をつけて話す」「論理的に説明する」等の力をつけるため話し方の指導のをしていくようにしたいと考えます。



全体的には8割以上の児童が楽しいと答えていますが、10名弱の児童が困り感を抱えています。このようなお子さんに常に目を向け、個別に聞き取りや相談をしながら、保護者の方とともに寄り添った指導をしていきます。

上に挙げた項目の他にも「元気なあいさつ」「友だちの気持ちを考えた行動」「だまり掃除」「外遊びと体力づくり」についても同様にアンケートを行いました。紙面上掲載できませんが、あいさつは児童70%職員40%と継続的な課題で、クラスや児童会でも向上に努めています。「もとう思いやり」については2学期始業式でも校長講話で83%の児童がよくできているということで、様々な場面で思いやりのある行為が見られます。

このアンケートとは別に職員で日々の授業についても「信州型ユニバーサルデザイン」（長野県教育委員会）の視点で振り返りを行いました。子どもに確実な力を定着、子どものニーズに即した教材の提供、教師がしゃべりすぎない授業などの課題について日々の授業力向上と授業改善・子どもたちの学力向上に向けて取り組んでいきたいと考えています。また、11月には保護者アンケートもありますのでよろしくお願い致します。